

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】医療観察法入院処遇となった高齢者の疾病、予後等に関する後方視研究

【研究責任者】病院 司法精神診療部 第一司法精神科医長 大町 佳永

【本研究の目的及び意義】

当院の医療観察法病棟における高齢入院対象者に関して、診断名、入院期間、退院時に通院処遇または処遇終了のいずれになったか、処遇終了となった場合の理由、退院後にどのように地域に帰ったのか等に関するデータを収集し、分析を行います。これにより、高齢触法者に対するより適切な処遇の判断、高齢の入院処遇対象者が地域に帰るための必要な支援体制を検討するうえで、重要な資料を提供することが期待されます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2023年5月31日までに当院の医療観察法病棟に入院処遇となった対象者のうち、入院時の年齢が65歳以上であった方。

利用する試料・情報等

情報等：診療録や裁判所への各種申立書類等(入院時年齢、性別、医療観察法鑑定時の診断名、対象行為の罪種、医療観察法入院処遇退院時の診断名、入院期間、入院処遇終了の仕方(通院処遇または処遇終了のいずれか)、身体合併症、強制治療の有無、行動制限実施の有無、処遇終了の理由(死亡退院か、どのような入院処遇の要件を満たさなくなり処遇終了となったか)、服薬の内容・量、処遇終了後の居住先(施設か、病院か、単身かなど)等)

研究期間

2020年10月1日より2025年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 司法精神診療部 氏名 大町佳永

電話番号

e-mail:yomachi※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)